

# 退任支部長からのメッセージ

夏の支部懇談会を最後に退任された支部長からメッセージをいただきました。

## 支部長になって見えた風景

H27 福島(中通り)支部長 宗方 浩



昨年度で支部役員を引退するはずでしたが、留学の関係で娘がもう一年大学に残るということで、突然支部長という大役が回ってきました。私自身30年ほど前専修大学を卒業しましたので、母校への恩返しという思いで、この一年間活動してきました。

それまでも、支部役員として3年間育友会活動に携わってきましたが、支部長という責任ある立場に立つと、また違った風景が見えてきました。それは、保護者の皆様のお子さまに対する思いや大学に対する期待。また、大学の先生

や職員の方々の学生一人ひとりに対する優しい眼差し。立場は違えど、それぞれがそれぞれの立場で、積極的に学生に関わっているということです。本育友会は昭和33年、他大学に先駆けて創設されましたが、創設当時の先輩方の熱い思いが、現在まで脈々と受け継がれているということを実感しました。

最後になりましたが、この一年間支えて下さった支部役員の皆様、そしていろいろとバックアップしていただきました本部役員の皆様方に厚く御礼申し上げます。



↑支部懇談会にて支部役員と教職員

## 育友会の日々感謝

H27 神奈川東支部長 田中清美



私も専修大学の出身ですが、かつて母が山形支部の支部懇談会に参加し、「専修大学についてよくわかった…」と笑顔で話していたことを思い出します。保護者にとって支部懇談会は大学との絆を結ぶ大切な場です。神奈川支部の支部懇談会は生田校舎で開催する東西合同の大規模なもの。大学教務課・育友会事務局・神奈川東西の支部役員の相

互の連絡を密に親睦を深め、準備にあたりました。また、育友会役員OBの皆様の協力にはなにより感謝いたします。良き思い出の日々が今も胸に浮かびます…。育友会は専修大学の良きサポーター役。大学と保護者の皆様の絆が更に深まる活動となり、皆様ますますご発展されますことを祈念いたします。ありがとうございました。

→矢野建一学長と支部役員



## 今後への繋がりを感じる貴重な体験

H27 愛媛支部長 谷本育朗



愛媛支部での活動は、善き先輩方を含めまして、支部役員及び会員の皆様にご協力を頂きまして、大変有意義なものとなりました。心から感謝申し上げます。

特に本年度の支部懇談会では、県内から23名にのぼる支部会員のご参加を頂き、大学側からは日高理事長を始め、5名の教職員の出席を頂きました。教職員の方々による学業、就職等に関する貴重なお話には、支部会員の皆様も熱心に耳を傾けられ、個人面談にも積極的に参加して頂き、大変充実した時間を過ごすことができました。

また、恒例の昼食会におきましては、

教職員と会員との間で会話も弾み、終始アットホームな懇談会となりました。

私事になりますが、昨年より支部長を拝命し、大学教職員、育友会本部役員及び他支部の方々と情報交換が行えたことは今後への繋がりを感じ、大変貴重な体験でした。また、本年度は、硬式野球部が東都一部リーグ昇格後、即時26年ぶり32度目のリーグ優勝を達成され、記念となった年度に支部長を務めさせて頂いたことも感慨深い思い出となりました。

最後になりましたが、専修大学、育友会の皆様の益々のご発展とご健勝を祈念しまして、お礼の挨拶と致します。



↑支部懇談会にて日高義博理事長の挨拶



↑支部懇談会の昼食会